

WA れぽーと



自慢のノド、民謡43曲を披露

KSC民謡クラブの発表会が2月6日、生田文化会館（中央区）で開かれ、会員50人が日ごろ鍛えた自慢のノドで、草津節や出船音頭、貝殻節、庄内おばこ、鱈釣り唄など43曲を次々と披露。全員で広島木遣り音頭をうたって賑やかに幕を閉じました。同クラブは、三味線・太鼓・尺八の地方（伴奏）を伴い、踊りも加わるという正統派。この日も、唄のほか、柚子の会・千の会による勇壮な踊りが加わり、客席からは盛んな拍手を浴びていました。代表の松山昭さんは「発足から8年。月1回の施設訪問で皆さんに民謡を楽しんでもらっています」と話しています。（写真は鱈釣り唄を踊るクラブ員）

17人が男料理を楽しみました

白井操さんのレシピで料理を楽しもうという男性向け教室が3月25日、カレッジの調理室で開かれました（写真）。食文14期が指導する3回シリーズの1回目。この日は「料理は初めて」という人や「趣味でやっています」という人ら17人が参加。橋口勝禧さんのわかりやすい説明と、スタッフの手際よい指導で、「豚肉の味噌生姜焼き・豆腐とトロロのレンジ蒸し・春キャベツと油揚げのさっと煮・ワカメとシメジの味噌汁」のメニューに挑戦しました。1時間ほどかかってできあがり！「ちょっと煮すぎたかな」

奥田良子「えすぺらんさ」コンサート

難病を乗り越え、夫婦でフルートやオカリナの演奏活動を続けている奥田良子・勝彦さんの「トークコンサート」（グループわ主催）を5月19日（木）シルバーカレッジホールで開催します。わ会員外の方や、在校生の参加も歓迎します。入場無料。

19日13時開場。13時30分開演。トークと音楽フルート奏者の奥田良子さんが、クローン病を

私のボランティア日記

憧れのハワイ航路 太田洋子（国際4）
KSCハワイアンズの仲間でボランティアに出かけています。「西神中央のデイサービス」にはモダンなおじいさまがいらっしやり「ハワイ航路」を唱ってくれます。若かりし頃船員だった彼は、1か月後にハワイ上陸の予定だったので、「ピチピチ娘からレイをかけられキスされる」と、心待ちに夢をふくらませていたそうです。それなのにパールハーバーで戦争が始まり、以後行くこともなくなってしまいました。あこがれの気持ちだけは未だに絶たれず、いつまでも「あこがれのハワイ」であるとのこと。

そのようなことがあって、私達の来訪をすごく喜んでくださり、握手をしながら「かわいい」との言葉をいただきます。彼のウキウキした笑顔に私たちも嬉しく楽しいひとときを過ごします。

「パーマリン中道」は、寝たきりや話せない方が多いのですが、音楽がはじまると、とってもいい顔になり手足を動かして体をゆすりだすのです。

「昔はさぞ幸せな家族、家庭に恵まれておられたのでしょ……」とほほえましくなり、その笑顔に全員が元気をもらってかえるのです。



「オレの料理もいける」。全員で試食しながら、なごやかにランチタイムが続きました。実習は4月1日と5日にも行われました。（取材 広報・宮里寿子）



発症し、夫の勝彦さんと出会い、勇気づけられて、「えすぺらんさ」を結成。全国で演奏活動を続ける人生を音楽にのせて語ります。曲は、いとしのエリー・

千の風になって・涙そうそう・めぐり逢い・見上げてごらん夜の星を、など。